

# 今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

平成28年12月12日（月）～平成28年12月18日（日）〔平成28年第50週〕の感染症発生状況

第50週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) インフルエンザ 3) 流行性角結膜炎でした。  
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は25.42人と前週（24.78人）から増加し、例年より高いレベルで推移しています。  
 インフルエンザの定点当たり患者報告数は7.02人と前週（3.53人）から増加し、例年並みのレベルで推移しています。  
 流行性角結膜炎の定点当たり患者報告数は3.00人と前週（2.44人）から横ばいで、例年よりかなり高いレベルで推移しています。

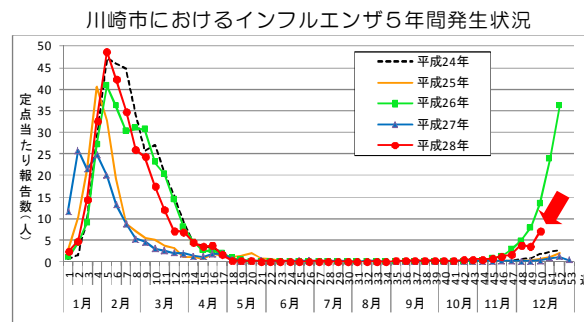


## インフルエンザの勢い増す！

川崎市において、インフルエンザの第50週（平成28年12月12日～12月18日）の定点当たり患者報告数が前週の3.53人から7.02人と倍増しました。平成26年の増加傾向と類似しています。

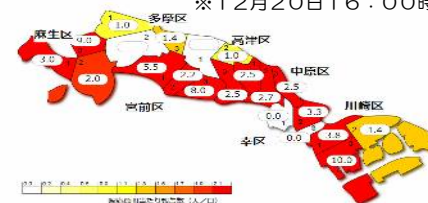
本市のリアルタイムサーベイランスによると、現在、A型インフルエンザの報告数が多くなっています。

市内でもインフルエンザによる学級閉鎖が続いており、年末にかけて患者数が急増する可能性がありますので、手洗いや咳エチケット（マスクの着用）を徹底しましょう。

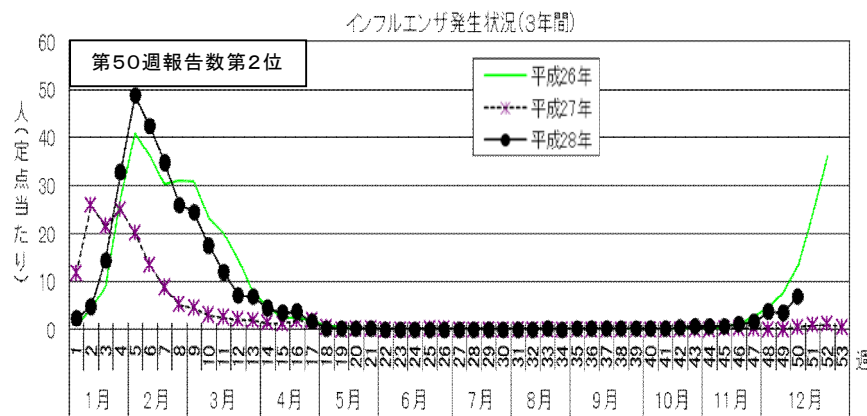
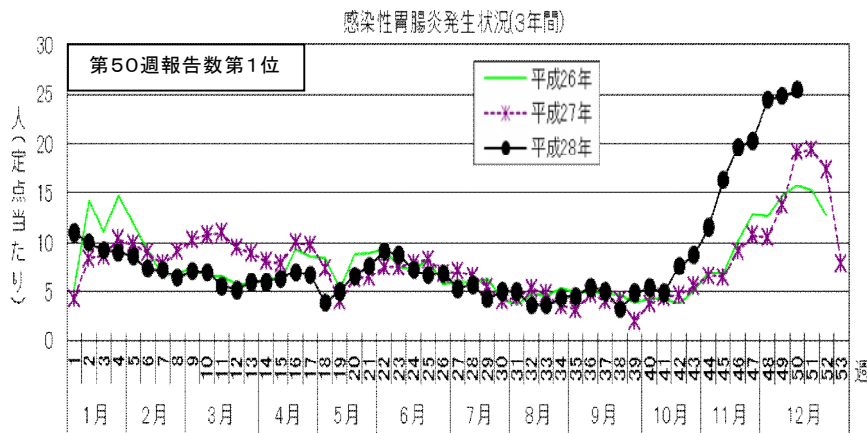
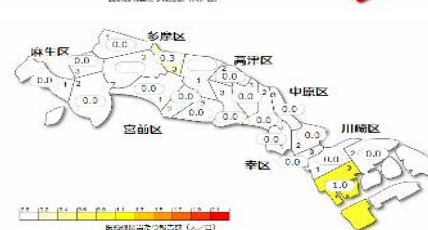


川崎市におけるインフルエンザ5年間発生状況  
 川崎市感染症発信情報システム（KIDSS）  
 インフルエンザのリアルタイムサーベイランス地図情報  
 （平成28年12月19日報告分）  
 ※12月20日16：00時点

【A型】



【B型】



**予防のポイント**

- ワクチン接種
- 咳エチケット
- 手洗い
- 十分な休息
- 適度な湿度の保持
- 人混みを避ける